



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 281
August
2016

トピックス

関係機関との防災 協力推進

JICA研修「中央アジア・
コーカサス地域総合防災
行政コース
」プログラムの実施

●関係機関との防災協力推進

JICA研修「中央アジア・コーカサス地域総合防災行政コース」 プログラムの実施

アジア防災センター(ADRC)は、国際協力機構関西国際センター(JICA関西)と協力し、2016年6月27日から7月29日にかけて中央アジア・コーカサス地域の防災担当行政官を対象とした「中央アジア・コーカサス総合防災行政コース」を実施しました。中央アジア・コーカサス地域では、地震、洪水、地すべりといった災害が多く発生し、春におこる山岳部の雪解け水による鉄砲水・洪水リスクを抱えています。またこれらの災害は複数の隣接国に及ぶこともあり、本地域における防災協力の推進が重要な課題の一つとなっています。



本研修は、防災行政に関する全体的な日本の防災の知識や経験、蓄積してきた技術を提供するとともに、研修員がそれぞれの国において自国の現状と課題を分析し、より良い防災体制を構築するための改善案を策定することを目的としています。今年度は、コーカサス地域のアルメニア、中央アジア地域のカザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタンの計6カ国から、中央または地方政府の防災担当行政官計14名が参加し、ロシア語による研修が行われました。研修員は、中央・地方政府、研究機関、民間企業、気象機関、NPOなどから講義を受け、日本の防災について幅広く学びました。

広島研修旅行では昨年引き続き、大災害の記憶の継承について学ぶために広島平和記念公園を訪問したほか、広島土砂災害の経験と教訓についての講義、構造物対策としての砂防ダムの建設現場視察を行いました。東北研修旅行では、東日本大震災による津波と原発事故との複合災害を福島県川内村の事例を中心に、その被災状況や避難と復興について学びました。

新潟研修旅行では、中越地震の被災地を訪れ、土砂災害対策が施された地震からの復旧を視察したほか、今年度は新潟県庁及び防災科学研究所雪氷防災研究センターのご協力により、豪雪地帯である新潟県庁の施策を学ぶとともに、雪氷災害の研究施設を見学しました。

帰国後は、彼らが研修で学んだ知識、技術、手法を様々なプロジェクトに活用し、自国のより良い防災体制を構築していくことが期待されます。当研修実施にあたり、訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia